

九品仏地区 社協だより No.142



発行者：九品仏地区社会福祉協議会
 事務局：社会福祉協議会 九品仏地区事務局
 世田谷区奥沢 7-35-4
 九品仏まちづくりセンター内
 ☎ 070-3946-9797
<https://www.setagayashakyo.or.jp>

歳末たすけあい・地域支えあい募金にご協力をお願いします！



「歳末たすけあい・地域支えあい募金」とは？

東京都共同募金会が主催し、世田谷区、世田谷区町会総連合会、世田谷区赤十字奉仕団、世田谷区民生委員児童委員協議会の協力により、世田谷区社会福祉協議会が実施しています。

皆様からいただいた募金の使いみち

募金はすべて世田谷区の福祉事業に活用します。

高齢者・重度障がい者(児)の介護者と、支援を必要とする世帯へのお見舞金、支援を必要とする世帯の小・中学生への入学お祝い金、地域福祉推進のための支えあい活動など地域福祉活動に使います。

※お問い合わせは、玉川地域社協事務所 (Tel 5491-8525) までお願い致します。

「地域包括ケアの地区展開報告会」

10/28(月)「まちづくりセンター」「あんしんすこやかセンター」「社会福祉協議会」が、福祉の相談窓口として連携する取り組み「地域包括ケア」の3年目の報告会が開催されました。

基調講演は、上之園佳子先生(日本大学文理学部社会福祉学科特任教授)が『地域ネットワークと協働』をテーマに話されました。地区における課題解決への取り組みの中で支える人も支えられる人も、その人らしく繋がりを作っていく「地域包括ケア」の考え方を分かりやすく教えていただきました。

事例発表で、玉川地域からは九品仏地区が報告をしました。

九品仏地区って本当に凄いです！！

～多世代&多機関交流を活かした地域社会の実現に向けて～
 九品仏地区での町会や社協の活動報告と紹介の後、「地区内の3つの課題と解決への試み」の報告がありました。

●「坂道が多く負担」高齢者からの声

商店会や推進員の尽力で、2脚の椅子を3か所に設置。(1脚ではなく2脚あれば並んで話ができる)

●「サロンなどの活動に男性参加が少ない」

男性専用サロン【ダンディクラブ九品仏】を立ち上げ支援した。そこから「男性の茶話会」や「九品仏橋の会(コントラクトブリッジ)」に発展中。

●「団体間・世代間の交流が少なく地域コミュニティの結びつきが希薄では？」

パラリンピック正式種目「ボッチャ」の体験と、終わった後の交流会を実施。障がい者施設では障がい者施設同士の交流が生まれ、高齢者施設での体験では交流した保育園児がボールを拾ってくれるなど… 現在は幼保・小中学生を含めた参加も企画中和のこと。

「ボッチャ」等の新しいツールを通じ、まちづくりセンター・あんしんすこやかセンター・社会福祉協議会と一緒に、地区内の施設・活動団体・住んでいる皆さんとの災害時にも「顔の見える関係づくり」がますます繋がっていくことを期待します。(n.m.)

福祉体験学習

10/11(金)八幡小学校4年生、11/5(火)九品仏小学校4年生を対象に福祉体験学習を実施しました。80歳くらいの高齢者になったような体験、目かくしを付けて白杖を持ち、目の見えない人の体験をするとともに、補助をする方法について学んでもらいました。

僕達に何が出来るか？
 僕たちに出来る事は
 たくさんある。



高齢者体験
 (八幡小 新井先生)



福祉体験学習は、高齢者や障がいのある方の身になり福祉に目を向け誰もが住みやすい社会について考えることを目的としています。地区社協では、八幡小学校、九品仏小学校などの近隣の学校で高齢者疑似体験(写真)や白杖体験を実施しています。今後も、玉川聖学院中学校で実施予定です。